

起因物、事故の型：その他の環境等 - 墜落・転落の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	業種小 コード	労 働 者 規 模
1	13~ 14	2階の宅配を完了したので階段から下りるとき、上から3段目の所に氷の膜があり、知らずに下りたところ滑ってしまい、階段の角に左腕をぶつけ、ひどい痛みがあり、しばらく動けなくなった。腫れが酷く、左腕下側筋肉断絶と言われ、2週間様子を見ることとなった。	70	80205	300 ~ 499
1	14~ 15	日常清掃作業で、3F屋上の灰皿を処理する為、屋上塔屋の周辺を歩いていて、突風にあおられて飛ばされてしまい、2Fの屋根部分に落下し負傷した。なお、屋上にフェンスは設置されていない。	70	150101	100 ~ 299
2	9~10	当牧場にて競走馬を騎乗して調教をしている際に、騎乗していた馬が物見をして木の影に馬が驚き急に止まった。その勢いで落馬し右半身から落ちたため大腿骨の骨折となった。	40	70101	30 ~ 49
2	9~10	Cコースにおいて取扱馬試教中、ゲートを出た後、該馬が突然跳ねた為バランスを崩し斜め前方へ落馬し、左肩部、頸部、左肘を負傷した。	39	70101	10 ~ 29
2	13~14	調教馬場で乗りかわって残り1周で馬が暴走し、手綱をはなさず鎧もぬげず頭から落ちて引きずられた。	16	70101	1~ 9
2	7~8	馬場Cコースにおいて取扱馬の騎乗調教中、該馬が突然斜行したため、落馬し柵に当たり、右腰背部を強打負傷した。	37	70101	—
3	8~9	屋内走路で育成馬の調教中、突然立ち上がり落馬し、左側肋骨骨折及び右肩負傷を負った。	52	70101	30 ~ 49

3	9~10	被災者は当牧場にて、競走馬の育成・調教に従事している。牧場内で2歳牡馬を騎乗訓練している際に馬が突然立ち上がり、耐えきれず落馬し、着地の際に右足を強く打ち負傷した。	36	70101	50 ~ 99
3	11~12	被災者は検針作業を行うため、隣家との間に硬く積もった高さ約1mの雪山を歩行中、足元が滑り地面に転落し、右上腕部を受傷した。	42	170209	100 ~ 299
3	6~7	角馬場において、取扱馬の騎乗調教中、該馬がつまずき人馬ともに転倒し、頸部を負傷した。	63	70101	10 ~ 29
3	9~10	坂路コースにおいて取扱馬の騎乗調教中、該馬が興奮して暴れたため落馬し、左胸部（肋骨）を負傷した。	59	70101	10 ~ 29
3	8~9	調教中、騎乗馬が後続の馬に驚きあばれて立ち上がったため落馬し、腰部と背部を地面に強く打ちつけた。	34	140309	10 ~ 29
3	15~16	当社工場内において、キノコビンのキャップが入った袋を運ぶ作業中、高さ約1mの台に乗っていたところ、誤って足を滑らせてしまい、手をついたときに右手首を負傷した。	49	10109	30 ~ 49
3	7~8	取扱馬の乗運動中、該馬が突然立ちあがり人馬ともに転倒し、右足踵部分を負傷した。	46	70101	10 ~ 29
3	7~8	取扱馬の乗運動中、該馬が突然暴れて振り落とされ、左大腿部を負傷し、左第1指を該馬に踏まれ負傷した。	45	70101	10 ~ 29
4	7~8	騎乗調教を開始しようとして場内厩舎前で馬にまたがった際、馬が突然暴れ厩舎内に向かって走り出し、騎乗したままの状態なんとか止めようとした。その時に厩舎の天井の梁に頭部をぶつけ落馬した。	40	70101	10 ~ 29

4	16～ 17	馬場内に設置の丸馬場において、新馬に騎乗し調教中、馬が立ち上がり後方に落馬し、腰部を打撲し骨折した。	32	140309	1～ 9
4	5～6	厩舎前において取扱馬の乗運動中、該馬が突然立ちあがり人馬とも転倒し、右腰部（右骨盤）と左足踵を負傷した。	29	70101	10 ～ 29
4	15～ 16	小学校の敷地内において、土手（ノリ面となっている）の草を草刈作業中、1.2m程度の高さより下の道路に落ち、腰の骨を折り頭を打って一部切傷した。	67	150101	50 ～ 99
4	9～ 10	厩舎付近の馬運動場付近において、調教終了後の帰厩の際に該馬が突然立ちあがり落馬し、腰部及び頸部を強打した。	39	70101	10 ～ 29
5	13～ 14	調教場にて馬の調教中、馬上でバランスを崩し落馬した。地面に頭部を打ちつけ脳震盪の症状があらわれた。馬体に着用していた鞍がずれてしまったことが原因である。	27	70101	300 ～ 499
5	8～9	自厩舎内、厩舎前において乗運動中、該馬が厩舎作業中の人に物見し立ち上がったため落馬し、着地した際に右足を衝撃により負傷した。	43	70101	10 ～ 29
5	15～ 16	給食配送を終え、構内作業として土手の斜面で草刈り機を使用して草刈りをしている際、ぬかるんだ土手の斜面に足を滑らせて約1m下のアスファルトに滑り落ち、背中を打った。	70	40301	100 ～ 299
5	5～6	運動道で5才馬の乗り運動中、馬が暴れて落馬し、右膝を受傷した。	39	140309	1～ 9
5	10～ 11	個人宅リフォーム工事において、敷地から1m位下にある浄化槽を点検する為、傍にあった延石を掴んで降りようとしたところ、延石がぐらつき落ちて来たため避けようとした時、更にその下の崖（約3m）へ落下し、右肩を強く打ちつけ負傷した。	69	30202	1～ 9
		馬場において取扱用の騎乗調教中、該馬が突然逃避しながら斜行したため			10

6	7~8	落馬し、左肘を負傷した。	32	70101	~ 29
6	7~8	被災者は当牧場分場にて、競走馬の育成・調教に従事する者であるが、事故当時、分場の馬道を3歳牡馬に騎乗し坂路へ向かっていた時、突然狸が跳び出し、馬が驚き体を反転したため、被災者が耐え切れず、バランスを崩して落馬し、負傷したものである。	48	140309	10 ~ 29
7	11~ 12	牧場の馬場において、被災者が馬の騎乗調教中、馬が何かに驚いて急に横跳びした為バランスを崩して落馬し、その際に地面に頭部を強打して負傷した。	60	70101	1~ 9
7	15~ 16	馬車の練習中に運転手（御者）として勤務。馬が道路脇の法面を下ってしまった際に座席から振り落とされ地面との接触の際に足を受傷した。	36	170209	10 ~ 29
7	17~ 18	本社馬場にて障害調教のトレーニング中、馬と呼吸が合わずバランスを崩した時馬が暴れ出し落馬、肋骨を折り肺と肝臓を損傷した。	21	140309	1~ 9
7	3~4	厩舎前において、騎乗の際に該馬が突然動き出したため落馬し、その際に右足を該馬に踏まれ、同部を負傷した。	49	70101	10 ~ 29
9	14~ 15	馴致中、ウォーキングマシン内で騎乗していた所、馬が突然立ち上がり、後方に転倒。ウォーキングマシン内の後壁に投げ出される形で落馬。その際に、右肩から背中にかけて激痛を感じた。	31	70101	300 ~ 499
9	16~ 17	空き地の除草作業前に障害物を足で草を避けながら確認中、メヒシバに足を取られ、バランスを崩し段差（80cm+身長180cm）の下へ転落した。転落時に受身を取ろうとしたが、頭から転落。数分後立ち上がったが上半身に力が入らず背中に痛みがあった為、作業を中断し、自身で車を運転し病院へ行った。	63	120109	30 ~ 49
9	5~6	上記日時、牧場で内馬場において、牡5歳の調教中、同馬が心臓発作を起こした為、落馬し、左鎖骨を骨折する負傷を負った。	35	140309	1~ 9

9	23～ 24	機械部品を配送中、尿意を催し道路脇の駐車スペースにトラックを止め暗闇の中でガートレールを乗り越え、草が生い茂っていた為に斜面が有る事に気付かず足を踏み外し、急な斜面を、3m程体の左側面を下にして、転がり落ちた。	46	40301	50 ～ 99
9	5～6	馬運動場において、乗運動に向かうため騎乗した際、該馬が嫌がり突然走りだして落馬し、左足を強打負傷した。	48	70101	10 ～ 29
9	5～6	乗運動中、該馬が突然暴れて落馬し、腰部を強打負傷した。	44	70101	10 ～ 29
10	6～7	敷地内にて、急に馬が立ち上がり落馬をして、腰から落ちたところに馬があおむけに乗っかかり、腰の骨を折った。	38	70101	1～ 9
10	10～ 11	当牧場にて競走馬を調教のため、騎乗にて反路を走行中に馬がバランスを崩し、落馬してしまった際に右足を打ち痛めてしまった。	38	70101	
10	9～ 10	角馬場において、騎乗調教中、該馬が突然暴れ跳び背負い投げのように前方に投げ飛ばされ落馬、頸部を馬場にぶつけ負傷した。	36	70101	10 ～ 29
10	6～7	騎乗調教中、該馬が突然心臓麻痺を起こし、急に止まり倒れた際、バランスを崩して落馬、左肩と左肋骨を負傷した。	37	70101	10 ～ 29
10	16～ 17	敷地内を清掃中に台風の影響もあり、強風と降雨のため転倒し胸部及び左肩を地面に打ちつけた。	47	140101	10 ～ 29
10	8～9	馬運動場において騎乗調整中、該馬が突然暴れて落馬し、右手の第5指を強打負傷した。	58	70101	10 ～ 29
		騎乗調教中、該馬が突然走りだして埒にぶつかった際に落馬し、左足を強			10

10	6~7	打負傷した。	42	70101	~ 29
11	7~8	競馬場内ロンギ場で、1才馬（メス、鹿毛）を馴致中、同馬が突然暴れたため右肩から落馬し、右肩を地面に打ちつけ負傷した。	34	70101	1~ 9
11	14~ 15	会社敷地内の倉庫の屋根の修理のため、壁に立て掛けた梯子を上っていたところ、梯子が凍った地面に接地していたために、梯子が滑り、そのはずみで、はしごの2.5m位の高さから、地面に足から落ちた。	49	70101	1~ 9
11	9~ 10	測量業務に従事。林内を二人で踏査中、水路脇のベニヤ板で蓋がされていた溜柵があり、その蓋の上に15cm程の積雪があったため、気付かずに溜柵の上を歩行した時、二人分の重さに耐え切れずベニヤ板が折損し転落した。その際左腕上腕部を強打して受災した。	38	60209	30 ~ 49
11	11~ 12	自厩舎付近、馬運動場において取扱馬の乗運動中、該馬が突然躓き前方へ投げ出され落馬し、背部から馬場に落ちた際に負傷した。	49	70101	10 ~ 29
11	8~9	角馬場において騎乗調教中、該馬が突然斜行し尻っぱねをした際バランスを崩して落馬し、馬場に飛ばされた際背部と左手甲部分の骨を打ち、負傷（骨折）した。	57	70101	10 ~ 29
11	5~6	馬運動場において取扱馬の調教に行く途中、該馬が突然引っくり返り落馬し、その際背部、左臀部打撲、左肋骨・右手親指を馬場に打ち負傷した。	33	70101	10 ~ 29
11	3~4	荷降ろし場で封印を切った後貴重品室に戻る際、置いてあった荷物に躓き転倒した。その際にベルトコンベアー渡りステップに額を強打し額を裂傷したものである。	46	140309	10 ~ 29
11	10~ 11	外乗コースの確認及び馬の準備運動の為、コース確認の途中下り坂に差し掛かったところで路面凍結により馬が足を滑らせ転倒し、自らも落馬により左肩の腱板を損傷し被災した。	55	140309	1~ 9
					10

11	6~7	自社で乗馬の練習中にバランスを崩し落馬し、負傷した。	20	140309	~ 29
11	8~9	現場において、現場の状況を確認していたところ、前日刈り取った水草が水路側面ブロックに置いてあり又朝露でそれが濡れていたため、水草に足を入れた時に滑ってしまい、水路底面に落下（約2m高）してしまった。その際に底面コンクリートで右足踵部分を強打し骨折したものである。	64	30106	1~ 9
11	16~ 17	斜面での清掃作業中、移動の際に足を滑らせて前のめりに転倒、下方に滑り落ちて斜面下にあった構造物に額をぶつけ、裂傷を負った。	72	30199	1~ 9
11	11~ 12	工事現場にて、法面部分を高さ約1.5mの擁壁に立って草刈機にて草刈作業中、草刈機の歯がソテツに当たりその弾みでバランスを崩し、擁壁から落ちそうになった為自ら道路へ飛び降りた。その際、右足を負傷した。	62	30199	1~ 9
12	13~14	新築現場にて、脚立足場で作業中、クレーンで吊り上げている壁パネルを納める場所へ誘導していた際、風は強かったが、平家だったので慎重に作業を進めていたところ、突風にあおられて約2mの高さから転落し、左上部の額がヘルメットにぶつかり負傷し出血、左腕を打撲した。	68	30202	1~ 9
12	8~9	調製をする為、若い馬に下乗りをした際、馬が尻はねをし、勢いに対応できず落下し左側骨盤を骨折した。	32	140309	1~ 9
12	14~15	年末の掃除に必要な洗剤等を購入した帰り、事務所の入口外階段3段目にさしかかった際、強風によりさしていた傘ごと身体があおられ、約0.8m下に転落した。その際、左足大腿骨及び肋骨を骨折した。	57	90103	1~ 9
12	7~8	逍遙馬道において、調教終了後の乗運動中、該馬が突然暴れた際に落馬し、左膝を強打し負傷した。	60	70101	10 ~ 29
12	7~8	逍遙馬道において騎乗調教中、該馬が突然立ち上がったため落馬し、左腕を強打し負傷した。	39	70101	10 ~ 29
		当社牧場内において、競走馬の運搬のため常歩をさせていたところ、急に			10

12	11~12	馬が跳ね、馬場に叩きつけられるように落馬し、負傷した。	25	70101	~ 29
----	-------	-----------------------------	----	-------	---------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html